

II 暮らしの向上

1 健康づくりの推進

主担当部局長名
健康福祉部長 土井 敏多

目指す姿

県民が住み慣れた地域で安心して健やかに暮らしながら、要介護となる人や若くして亡くなる人を減らし、健康寿命の延長が図られる健康長寿県を目指します。

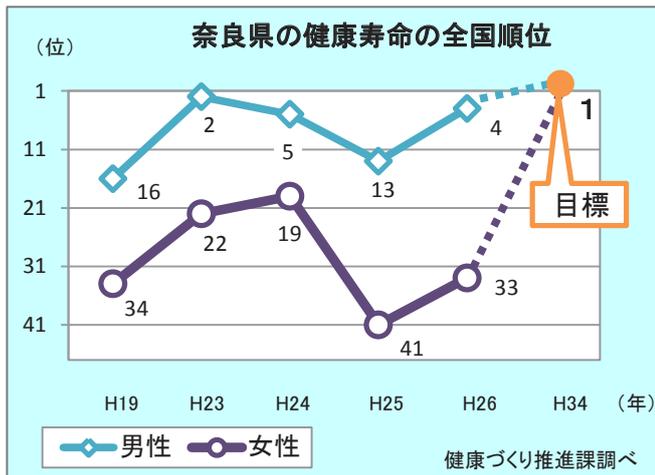


奈良県健康ステーション(王寺)

これまでの成果

- ・子育て世代を対象に「減塩げんきフェスタ」を5回開催し、計278人が参加しました。
- ・県内市町村が運営する健康ステーションの設置促進のため説明会を開催し、20市町村が参加しました。
- ・がん検診の受診率を高めるために、9市町でモデル事業(個別受診勧奨・未受診者再勧奨)に取り組み、受診者数は、平成25年度に比べ1.1~4.9倍に増加しました。

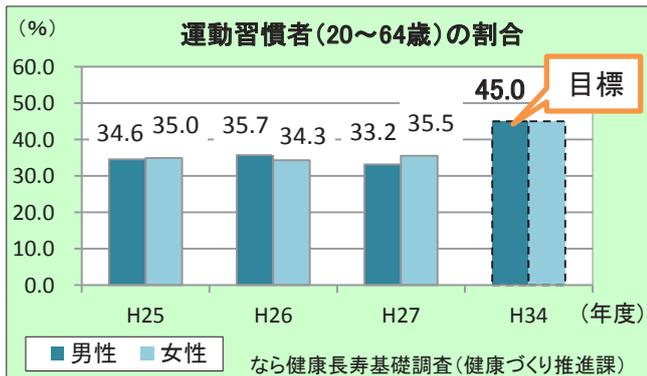
1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	平成34年度までに、県民の健康寿命(65歳平均自立期間)を男女とも日本一にします。(H25年男性:13位、女性:41位)
取組	健康寿命の延長に寄与する健康行動につながるよう、減塩教室、禁煙支援リーフレットの普及、健康ステーションの運営、市町村と協働したがん検診受診率向上等の取組を行いました。
成果	平成26年の健康寿命の順位は、男性4位、女性33位で、平成25年に比べ上昇しました。

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	<p>①平成34年度までに、運動習慣者の割合を45.0%以上にします。(H23年度:35.0%)</p> <p>②平成29年度までに、がん検診受診率50%を目指します。(H25年奈良県:胃がん37.2% 肺がん35.5% 大腸がん35.8% 子宮がん39.2% 乳がん39.4% ※子宮がんは20~69歳、その他のがんは40~69歳 ※子宮、乳は過去2年の受診率)</p>
------	--



取組	健康ステーション(橿原・王寺)を拠点として、活動量計を使った健康づくりの推進を行いました。(①)
成果	平成28年3月末までの健康ステーションの延べ来場者数は、89,060人(橿原)、24,901人(王寺)、活動量計2週間体験者数は、1,640人(橿原)、973人(王寺)となっており、運動習慣者の割合は、横ばいで推移しているものの、健康ステーションの運営を通して、運動習慣の啓発に努めました。